

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ミロク情報サービス

コード番号 9928 URL <http://www.mjs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 是枝 周樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 滝本 訓夫

TEL 03-5361-6369

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	4,598	△2.1	95	1.9	89	2.3	△0	—
21年3月期第1四半期	4,697	—	94	—	87	—	△59	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△0.03	—
21年3月期第1四半期	△1.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	14,537	7,309	50.3	229.00
21年3月期	14,794	7,682	51.9	240.80

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 7,309百万円 21年3月期 7,682百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	9,432	△3.2	345	△19.8	305	△26.5	100	143.0	3.14
連結累計期間	19,200	0.1	977	17.2	900	14.2	375	—	11.65

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 有 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 34,700,286株 | 21年3月期 | 34,684,286株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 2,781,989株 | 21年3月期 | 2,781,149株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 31,918,563株 | 21年3月期第1四半期 | 32,231,860株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月12日発表の通期連結業績予想を修正しておりません。
2. 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年後半からの急速な景気後退の影響を受け、企業収益の悪化に伴う設備投資の大幅な減少、さらに雇用情勢の悪化や個人消費の減少が続いており、景気後退の速度は緩やかになっているとの景気観測はあるものの、依然として厳しい経済状況となっています。

当社グループが属するソフトウェア業界及び情報サービス業界におきましては、企業における情報化投資の需要は底堅いものの、先行き不透明な経営環境のなかで、より費用対効果を重視した投資傾向が顕著になっています。

このような厳しい経営環境において、当社は4月に社内組織の改革を行い、会計事務所及び顧問先企業マーケットと中堅企業マーケット各々における顧客ニーズやマーケット環境の変化に対して、より柔軟に対応できる高い機動力を備えた製販一体型の独自の販売・開発体制を敷きました。これにより会計事務所及び顧問先企業マーケットと中堅企業マーケット各々に対して更なる顧客満足度の向上を図っております。併せて人事制度改革や新社内システムによる業務改善を図るなど、積極的な経営改革を進めております。

販売面においては、低価格サービス『ACELINK Navi月額使用料パック』を独立開業間もない小規模な会計事務所向けに提供し、新規顧客開拓を図るとともに会計事務所業界の発展に向けた取り組みを行っています。また、安定的な収益基盤の確立に向けて、継続的なサービス品質の向上と新たなサービスコンテンツの拡充に向けた取り組みに注力いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高45億98百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益95百万円（同1.9%増）、経常利益89百万円（同2.3%増）、四半期純損失0百万円（前年同期は59百万円の四半期純損失）となりました。

品目別の業績は次の通りであります。

（システム導入契約売上高）

ハードウェア売上高は、前年同期比1.3%減少し5億68百万円となりました。ソフトウェア売上高は、景気悪化の影響を受けて主力製品の販売が減少したため前年同期比9.6%減少し18億77百万円となりました。ユースウェア売上高は、前期比0.3%減少し5億48百万円となりました。

その結果、システム導入契約売上高の合計は、前年同期比6.5%減少し29億95百万円となりました。

※「システム導入契約売上高」は、システム導入契約時の売上高の合計として、ハードウェア、ソフトウェア、ユースウェア（システム導入支援サービス等の役務提供）の売上高から構成されています。

（サービス安定収入）

会計事務所向けの総合保守サービスであるTVS（トータル・バリュー・サービス）収入は、本年2月以降の料金改定により前年同期比40.5%増加し4億39百万円となりました。ソフト使用料収入は、会計事務所の顧問先企業向けの低価格な会計ソフト使用料が中心であり、着実に新規利用件数が伸張し前年同期比26.7%増加し73百万円となりました。企業向けのソフトウェア運用支援サービス収入は、契約企業数が増加したため前年同期比9.9%増加し5億83百万円となりました。ハードウェア・ネットワーク保守サービス収入は前年同期比3.8%減少し2億85百万円、サプライ・オフィス用品は前年同期比7.8%減少し1億60百万円となりました。

その結果、サービス安定収入の合計は、前年同期比12.3%増加し15億45百万円となりました。

※「サービス安定収入」は、主に継続的なサービス提供に基づく安定的な収入として、ソフト保守やハード・ネットワーク保守、ソフト使用料収入、サプライ・オフィス用品等の売上高から構成されています。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）連結財政状態

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億57百万円減少して145億37百万円となりました。主な要因は、流動資産では、現金及び預金が2億95百万円減少、受取手形及び売掛金が99百万円増加、棚卸資産が39百万円減少、固定資産では、無形固定資産が13百万円減少、投資その他の資産が14百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億15百万円増加して72億27百万円になりました。主な要因は、長・短借入金金が4億65百万円減少、社債が3億円増加、未払法人税等が86百万円減少、賞与引当金が1億76百万円減少、その他流動負債が5億22百万円増加したことによるものであります。

純資産は、3億72百万円減少して73億9百万円となりました。また、自己資本比率は50.3%となりました。

（2）連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ3億15百万円減少し、22

億40百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億82百万円の増加（前年同期は7百万円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益54百万円、減価償却費72百万円、たな卸資産の減少額1億7百万円等の増加要因によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億25百万円の減少（前年同期は3億27百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出1億19百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億72百万円の減少（前年同期は1億52百万円の増加）となりました。これは主に、社債の発行による収入が2億93百万円あった一方で、借入れの返済による支出が純額で4億65百万円、配当金の支払3億83百万円及び利息の支払12百万円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間及び通期業績予想につきましては、平成21年5月12日に発表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

⑤税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

受注制作のソフトウェアに係る売上高の計上基準については、従来、完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した受託開発契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる開発については進行基準（開発の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の開発については完成基準を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,268,541	2,564,285
受取手形及び売掛金	3,179,984	3,080,844
商品	199,128	226,409
仕掛品	71,293	80,056
貯蔵品	36,114	39,171
その他	724,180	720,850
貸倒引当金	△32,951	△37,817
流動資産合計	6,446,292	6,673,801
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,729,912	2,729,912
その他(純額)	1,463,633	1,465,798
有形固定資産合計	4,193,546	4,195,711
無形固定資産		
のれん	50,612	56,436
その他	1,682,083	1,689,699
無形固定資産合計	1,732,696	1,746,135
投資その他の資産		
その他	2,220,686	2,228,251
貸倒引当金	△56,073	△49,612
投資その他の資産合計	2,164,613	2,178,638
固定資産合計	8,090,856	8,120,485
資産合計	14,537,148	14,794,287
負債の部		
流動負債		
買掛金	762,008	749,170
短期借入金	1,100,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	546,540	537,100
1年内償還予定の社債	180,000	120,000
未払法人税等	43,733	130,185
賞与引当金	126,109	302,235
その他の引当金	11,921	10,927
その他	2,316,024	1,793,701
流動負債合計	5,086,337	5,343,320
固定負債		
社債	720,000	480,000
長期借入金	1,255,170	1,130,165
引当金	67,390	69,518
その他	99,055	89,106
固定負債合計	2,141,616	1,768,789
負債合計	7,227,953	7,112,109

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,198,274	3,198,258
資本剰余金	3,013,389	3,013,389
利益剰余金	2,070,276	2,453,913
自己株式	△871,077	△870,912
株主資本合計	7,410,863	7,794,648
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△61,855	△81,068
繰延ヘッジ損益	△39,813	△31,402
評価・換算差額等合計	△101,668	△112,471
純資産合計	7,309,195	7,682,177
負債純資産合計	14,537,148	14,794,287

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	4,697,728	4,598,915
売上原価	1,900,848	1,904,536
売上総利益	2,796,880	2,694,378
返品調整引当金戻入額	19,000	10,927
返品調整引当金繰入額	21,939	11,921
差引売上総利益	2,793,940	2,693,383
販売費及び一般管理費	2,699,818	2,597,443
営業利益	94,122	95,940
営業外収益		
受取利息	3,351	939
受取配当金	4,149	4,621
助成金収入	—	10,285
その他	7,094	6,115
営業外収益合計	14,594	21,961
営業外費用		
支払利息	19,985	20,775
社債発行費	—	6,774
その他	1,062	681
営業外費用合計	21,047	28,230
経常利益	87,669	89,670
特別利益		
投資有価証券売却益	—	391
保険解約戻金	4,527	—
その他	66	—
特別利益合計	4,594	391
特別損失		
固定資産除却損	1,243	812
投資有価証券売却損	—	11,750
投資有価証券評価損	122,041	23,029
特別損失合計	123,285	35,593
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△31,021	54,468
法人税等	28,206	55,267
四半期純損失(△)	△59,227	△798

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△31,021	54,468
減価償却費	108,042	72,319
のれん償却額	10,120	5,823
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,017	1,593
賞与引当金の増減額(△は減少)	△169,466	△176,125
その他の引当金の増減額(△は減少)	△22,267	△1,133
受取利息及び受取配当金	△7,500	△5,560
支払利息	19,985	20,775
投資有価証券評価損益(△は益)	122,041	23,029
固定資産除売却損益(△は益)	1,243	812
売上債権の増減額(△は増加)	△210,523	△105,973
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,918	107,676
仕入債務の増減額(△は減少)	△157,221	12,838
その他	565,188	495,630
小計	248,558	506,175
法人税等の支払額	△256,309	△124,056
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,751	382,118
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50,373	△31,391
有形固定資産の売却による収入	80	—
無形固定資産の取得による支出	△172,055	△88,077
投資有価証券の取得による支出	△141,204	△986
投資有価証券の売却による収入	81	15,305
利息及び配当金の受取額	7,500	5,480
その他	28,285	△25,786
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327,686	△125,456
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,150,000	—
短期借入金の返済による支出	△600,000	△600,000
長期借入れによる収入	350,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△342,085	△165,555
社債の発行による収入	—	293,225
株式の発行による収入	13	16
自己株式の取得による支出	△349	△164
配当金の支払額	△386,979	△383,354
利息の支払額	△15,133	△12,715
その他	△2,552	△3,857
財務活動によるキャッシュ・フロー	152,913	△572,405
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△182,523	△315,743
現金及び現金同等物の期首残高	3,307,334	2,555,973
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,124,810	2,240,229

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

従来、「ソフトウェア関連事業」及び「経営支援サービス事業」に区分して表示しておりましたが、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める「ソフトウェア関連事業」の割合がいずれも90%を超えているため、当第1四半期連結累計期間より事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める「ソフトウェア関連事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結会計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

当第1四半期連結会計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア関連事業 (千円)	2,890,524	96.8

- (注) 1 上記の金額は販売価額で表示しており、消費税等は含まれておりません。
 2 上記の金額は、セグメント間取引の相殺除去後の数値であります。
 3 経営支援サービス事業につきましては、生産に該当する事項がありませんので記載しておりません。

(2) 受注実績

当社グループは、一部受託開発を行っておりますが、金額が軽微のため、記載を省略しております。

(3) 仕入実績

当第1四半期連結会計期間の仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア関連事業		
ハードウェア (千円)	529,485	98.6
サプライ (千円)	95,150	103.2
その他商品 (千円)	62	0.4
合計 (千円)	624,699	96.8

- (注) 1 上記の金額は仕入価額で表示しており、消費税等は含まれておりません。
 2 上記の金額は、セグメント間取引の相殺除去後の数値であります。
 3 経営支援サービス事業につきましては、仕入に該当する事項がありませんので記載しておりません。

(4) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績を品目ごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア関連事業		
ハードウェア (千円)	568,436	98.7
ソフトウェア (千円)	2,890,524	96.8
サプライ (千円)	160,632	92.2
保守 (千円)	868,989	105.0
その他商品 (千円)	91,146	85.4
計 (千円)	4,579,728	98.1
経営支援サービス事業 (千円)	19,186	71.1
合計 (千円)	4,598,915	97.9

- (注) 1 上記の金額は販売価額で表示しており、消費税等は含まれておりません。
 2 上記の金額は、セグメント間取引の相殺除去後の数値であります。